

「湘南ひらつか七夕祭り」における募集広報



自衛隊神奈川地方協力本部平塚地域事務所（所長 児玉憲幸 一等陸尉）は、7月6日（土）及び7日（日）の2日間、「湘南ひらつか七夕祭り」に自衛隊ブースを出展し募集広報活動を実施しました。

「湘南ひらつか七夕祭り」は、関東三大祭りの一つとして有名な伝統ある七夕祭りです。7月5日（金）からの3日間、梅雨晴れの中で開催されました。まつりの主役である豪華絢爛な七夕飾りが1000本以上掲出され、七夕おどり千人パレード、多くの露店や地元商店街による楽しいイベントもあり、3日間で100万人以上の来場者でにぎわいました。

まつりの中心会場である「ひらしん平塚文化芸術ホール」に出展した自衛隊ブースでは、陸海空自衛隊の職種紹介のパネル展示をはじめ、南極の体験コーナー、ちびっこ用の迷彩服や制服の試着体験・撮影コーナー、入隊制度説明コーナーなどを設け、少しでも自衛隊の活動への理解促進に繋がればとの思いで広報活動を実施しました。

学校帰りの学生たちは、「南極の氷触ろう、泡が一杯入って白くて冷たいね」と氷の冷たさにはっとしていました。また、ちびっこ制服試着体験コーナーでは、「迷彩服がっこいいよ。これ着て写真撮ろう」と、タペストリーの前で親子がこやかに写真を撮っていました。

平塚地域事務所は「今後も各地のいろいろなイベントに参加し、自衛隊の広報活動を実施していきたい」としています。



第1師団らっぱ隊選考会を見学

自衛隊神奈川地方協力本部上大岡募集案内所（所長 荒木3等陸佐）は、7月8日（月）、募集相談員及び協力者の方々の引率し、陸上自衛隊練馬駐屯地（東京都練馬区）で実施された「第1師団らっぱ隊選考会」の見学に参加した。

当日は36度を超える猛暑日となり、上大岡から見学に参加した6名の募集相談員等の皆さんは、練馬駐屯地到着後、他の見学参加者と共に師団らっぱ隊の概要説明を受けた後、選考会場に移動した。

選考会場となった体育館では、奏者の熱気と張りつめた緊張感が伝わってくる中、見学参加者の皆さんは、事前に広報官から聞いた基本教練の動作や服装にも注意しながら、真剣な様子で「らっぱ」の演奏を聴き比べ、約1時間にわたり選考会の様子を見学した。

また、選考会の終了後には広報史料館の見学などが実施され、展示されている装備品や史料をじっくりと見ながら見学参加者同士で話が盛り上がり、駐屯地の売店で買い物を楽しんだりするなど、楽しい時間を過ごしてもらえたようだった。

上大岡募集案内所は、「今後も相談員の方々と連携し、皆さんの協力を得ながら効果的な広報活動を実施したい」としている。

